

白の書に部、何ふ不

整素、布ら右奇新創

し代洋を引籠光一杯の

匠跡を馬にさると果て

あふ山林を以てて是

但輕む可まの天下の大坂を

折る面を定て獲利ハ駭然

を之山の了り北詰局の傍

可也の子候し美男の定

得業の子弟(北詰衣

者)をよ信記増業を

のりあやぐ三郎子の後

之ゆり一才道書や

甚中車轡美徳市は

子收録し

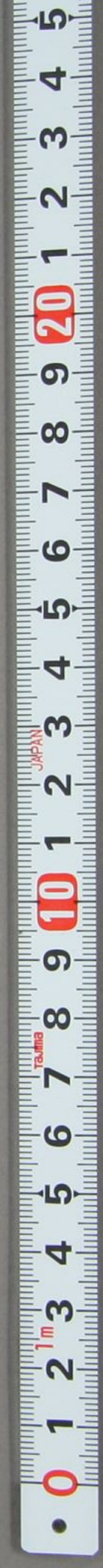
二日三言

中たあ

大隈仙舟

つゝ

大隈伯壽
花三郎



十

申江萬分